

第3回「クローバー 5つの約束」取組状況のご報告

私どもクローバー・アセットマネジメントは、「世界で一番お客様を幸せにするファンドでありたい」を合言葉に、これまでもホームページやセミナー・説明会等で度々私どもの考えや他に無い特徴をお伝えしております。このたび、2018年1月に宣言いたしました「クローバー5つの約束」の取組状況について、第3回目の報告をさせていただきます。



1. 自分たちが一番良いと思うものをお客様に提供します

当社のファンドは、自分たちだったらどんなファンドがほしいかという視点でつくられているもので、手数料収入を目的としているファンドとは一線を画するものです。常に自分たちが一番良いと思うものを選択し、お客様と共有させていただければと思っています。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(顧客の最善の利益の追求・顧客にふさわしいサービスの提供)に対応しております。

当社は、「運用をまかせるときの8つの基準」として、新たに組入れファンドを選定する際や定期的に、以下の8つの項目に従って評価をしています。

運用をまかせるときの8つの基準
①ファンドマネージャー(運用責任者)が明確であるか
②ファンドマネージャーは運用が大好きか
③ファンドマネージャーが自分たちでも投資しているか
④ファンドマネージャーと投資家の信頼関係はいいか
⑤ファンドの規模は適正か
⑥ファンドマネージャーは最悪の事態を経験しているか
⑦ファンドマネージャーとスタッフの人間関係はいいか
⑧手数料は適正か

評価の方法としては、①各組み入れファンドへのアンケートによる「デューデリジェンス」、②半年に1回程度のインタビュー(面談)、③当社のセミナーで登壇していただく際の参加者の理解度や対応を総合的に判断しております。

なお、①のアンケートは、「運用をまかせるときの8つの基準」をベースに70項目にわたるアンケートを実施し、当社の基準で5段階評価した結果、各ファンドの平均値は以下のとおりです。

昨年2020年3月に第一回目を実施し、最も低いポイントとなった「投資家との信頼関係とリスクの管理と共有」については、当社としては重要視している項目であり、今年度は、さらに「投資家との信頼関係」と「リスクの管理と共有」に細分化いたしました。その結果、「リスクの管理と共有(ファンドマネージャーが自分たちでも投資しているか)」とが、さらに低い評価となり、継続して注視していきたいと考えております。「⑤投資家との信頼関係」については、マーケットがダメージを受けた時にも信頼して持ち続けてくれるような関係を投資家と築けているかという視点で評価した結果です。

項目	平均値	
	2020年	2021年
運用体制の安定性 ①ファンドマネージャー(運用責任者)が明確であるか ⑥ファンドマネージャーは最悪の事態を経験しているか ⑦ファンドマネージャーとスタッフの人間関係はいいか	4.5	4.7
情報開示の質と量	4.6	4.7
投資哲学 ②ファンドマネージャーは運用が大好きか	4.6	5.0
運用手法への共感 ⑤ファンドの規模は適正か	4.2	4.4
投資家との信頼関係 ④ファンドマネージャーと投資家の信頼関係はいいか	4.0	4.2
リスクの管理と共有 ③ファンドマネージャーが自分たちでも投資しているか		3.8
ファンドの仕組み	5.0	5.0
手数料の適正度 ⑧手数料は適正か	4.8	4.8
AML/CFT 管理態勢	5.0	5.0
投資先管理	5.0	5.0

注 1) ○内の数字は「運用をまかせるときの 8 つの基準」に対応

注 2) アンケート 70 項目の要約

運用体制の安定性・・・直近の人事異動、運用者としての経験年数、危機の経験有無など

情報開示の質と量・・・投資家とのコミュニケーションの頻度など

投資哲学・・・投資哲学、ファンド創設のきっかけ、独自の強みなど

運用手法への共感・・・運用手法と成功例、失敗例など

投資家との信頼関係・・・長期投資家の比率、運用会社の株主構成比など

リスクの管理と共有・・・自身が運用するファンドに自己資金を投資しているか

ファンドの仕組み・・・商品概要の変更の有無

手数料の適正度

AML/CFT 管理態勢

投資先管理・・・投資先に対する AML/CFT のデューデリジェンスの概要など

注 3) アンケートの回収率・・・2020 年 90%、2021 年 100%

2. 長期で最高の運用成果を追求します

私どもが組み入れているどんなファンドにも必ず「旬」があります。そこで、世界のプライベートバンクやファミリーオフィスと連携しながら、常に新しく優秀なファンドを発掘してまいります。そして、その時々投資環境に合わせた、ベストなファンド・オブ・ファンズに組み替え続けることで、長期で最高の運用成果を実現できるよう努力してまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(顧客の最善の利益の追求)に対応しております。

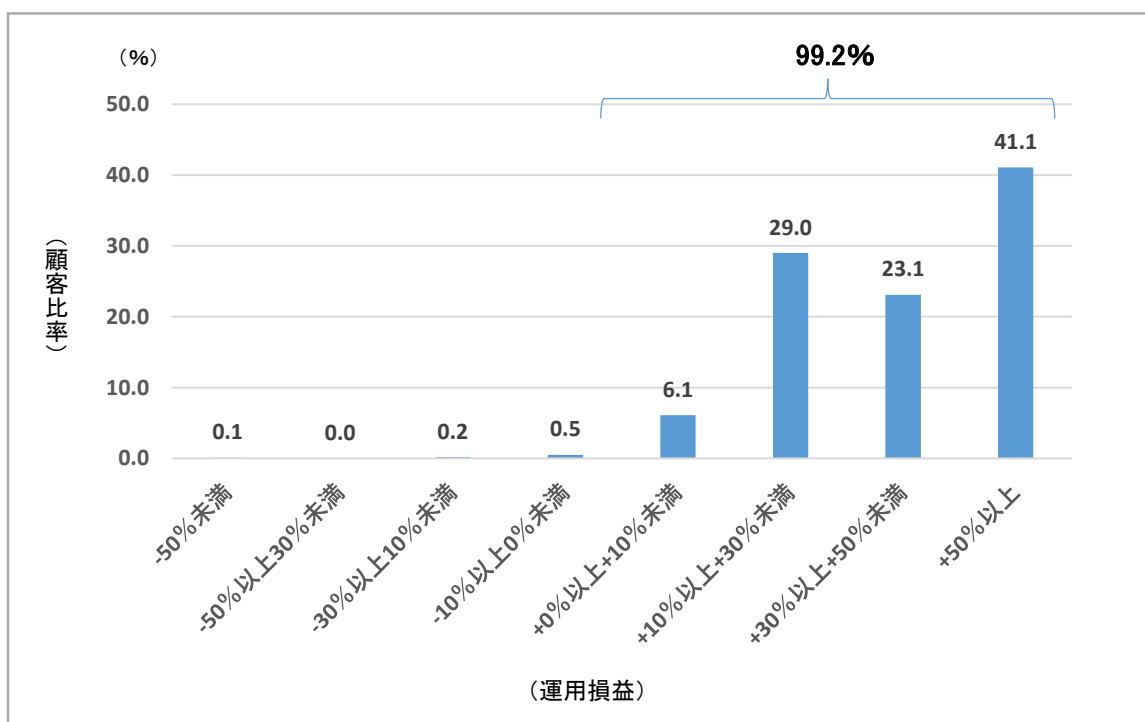
2021年3月末時点の投資信託残高に対するトータルリターンでは、99.2%のお客様が、運用損益でプラスとなっています。なお、以下のグラフについては、金融庁が示した「共通KPI」に基づき作成しております。

※共通KPIの定義・算出方法は、金融庁のホームページをご参照ください。

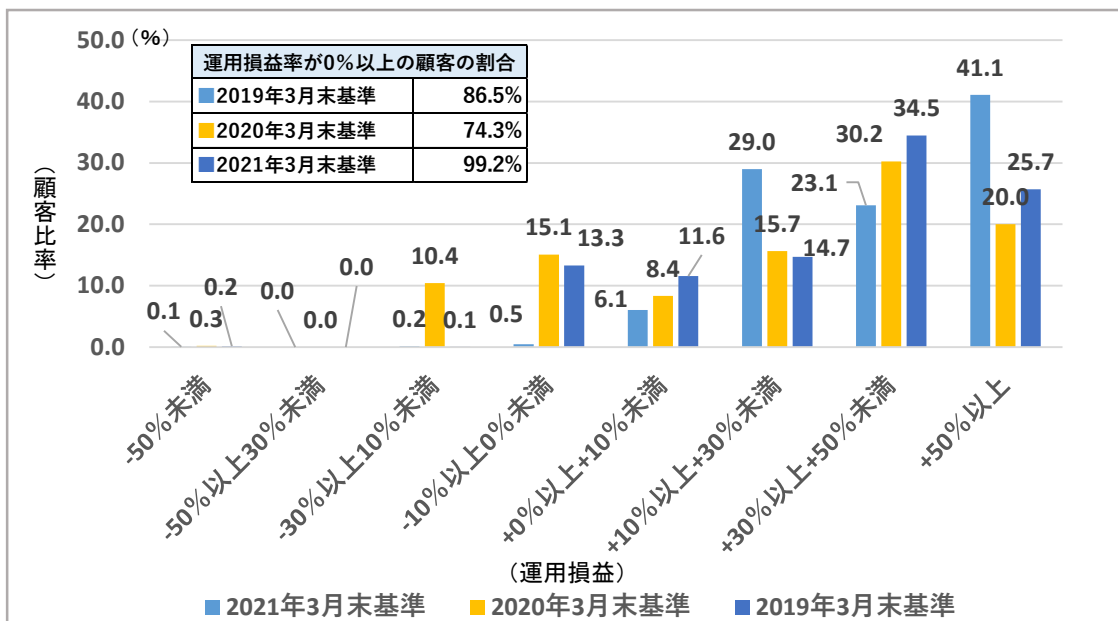
<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

◆投資信託の運用損益別顧客比率

①2021年3月末基準



②各基準年の比較

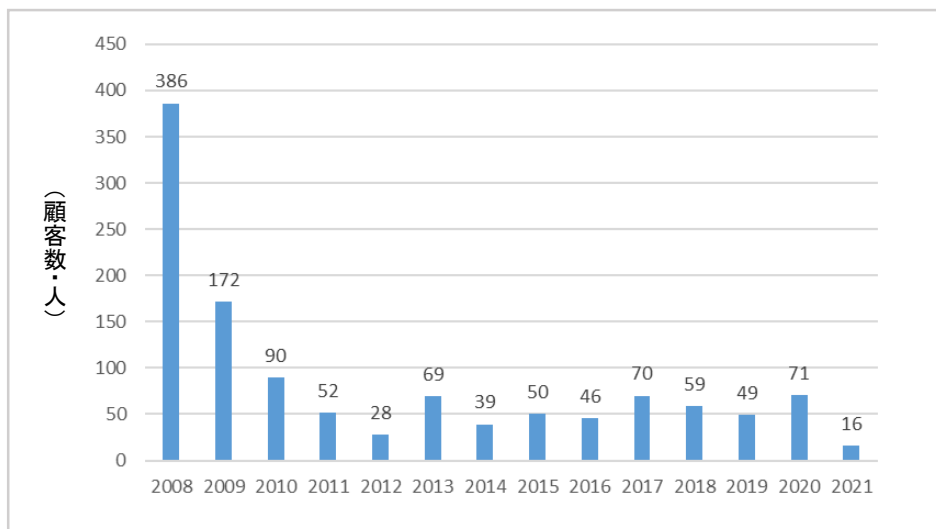


注)累計買付金額、累計売付金額は、2008年4月8日の設定日から2021年3月末日までの通常の取引データを基に集計(移管等を含まず)、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外。
 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆平均保有年数 (2021年3月末時点で残高がある顧客)

2019年3月末基準	7年9ヶ月8日
2020年3月末基準	8年4ヶ月4日
2021年3月末基準	8年9ヶ月26日

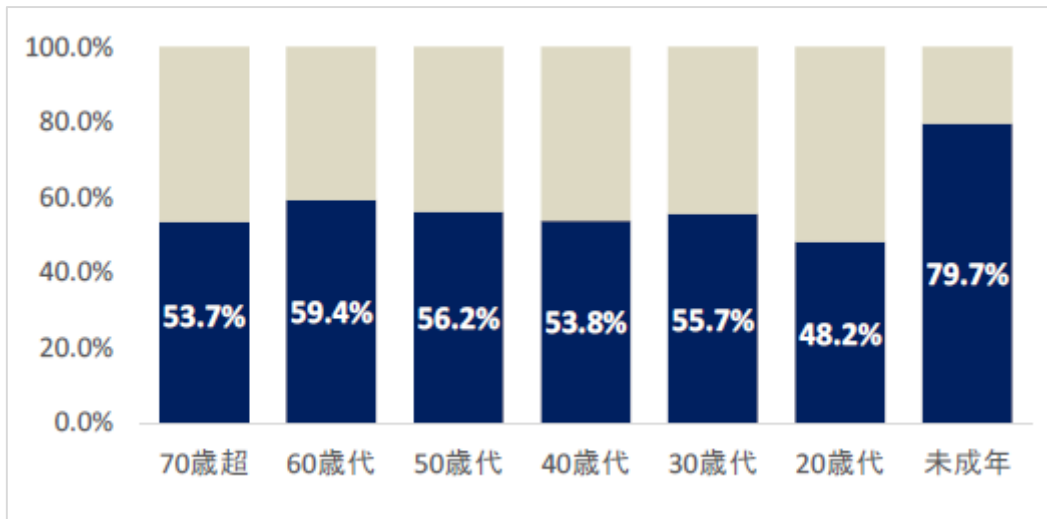
◆投資開始年 (2021年3月末時点で残高がある顧客)



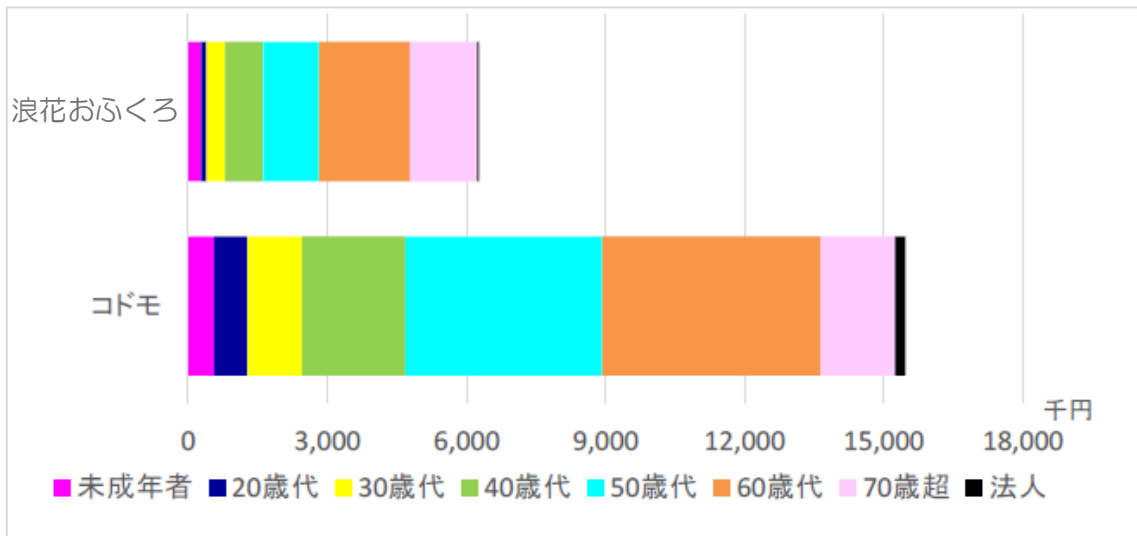
注)2021年は、1月から3月の数値を表記しております。

◆定期購入サービス(2021年3月31日現在)

年代別定期サービス利用率



ファンド別および年代別定期購入額



◆投資信託の組み入れ状況

	2020年3月31日現在		(%)	2021年3月31日現在		(%)
コドモファンド	1	アトランティス	22.21	1	コムジエスト・世界株式	22.21
	2	SBI ジェイリハイブ	15.62	2	アトランティス	15.62
	3	コムジエスト・ヨーロッパ 90	11.22	3	コムジエスト・ヨーロッパ 90	11.22
	4	コムジエスト・世界株式	10.44	4	SBI ネクストジャパン	10.44
	5	SBI ネクストジャパン	9.51	5	SBI ジェイリハイブ	9.51
	6	ユキ・ジャパン・リハウンディング	7.21	6	ヴァレンセレクション	7.21
	7	TOPIX 連動型投信	4.03	7	サテライト	4.03
	8	その他	3.07	8	SPDR ゴールド	3.07
	9	現金など	6.28	9	その他	6.28
				10	現金など	10.42
浪花おふくろファンド	1	コムジエスト・世界株式	43.24	1	コムジエスト・世界株式	48.00
	2	SBI ジェイリハイブ	14.08	2	SBI ジェイリハイブ	18.50
	3	コムジエスト・エマージング 95	7.06	3	カーディフ	10.21
	4	カーディフ	6.38	4	コムジエスト・ヨーロッパ 90	6.77
	5	コムジエスト・ヨーロッパ 90	5.90	5	コムジエスト・エマージング	4.58
	6	その他	8.31	6	現金など	11.93
	7	現金など	15.04			

3. 納得の行く費用体系を目指します

長期投資において優位なパフォーマンスを上げるにはコストも重要な要素となります。現在売買手数料は全て無料になっておりますが、信託報酬についても、運用のクオリティを優先しながら、よりお客様に有利な水準に低減できるよう、経営努力を続けてまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(手数料等の明確化)に対応しております。

当社が運用・販売する2ファンドを対象のコスト・リターン/リスク・リターンを算出しております。

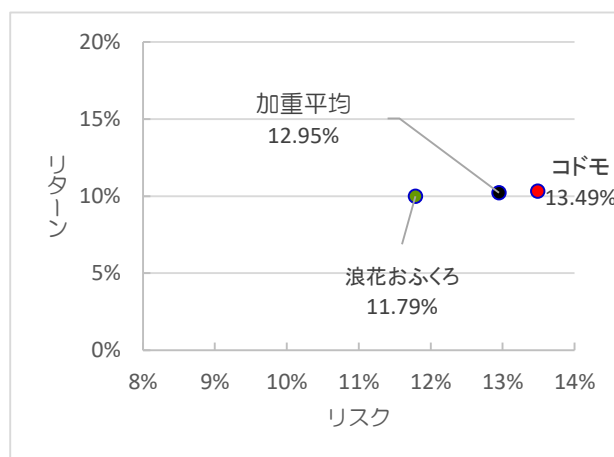
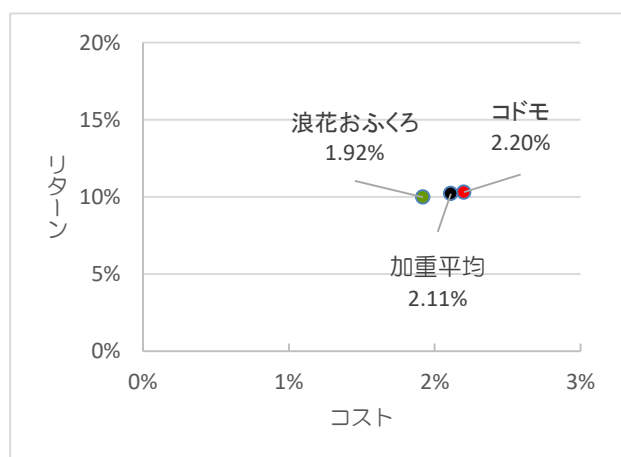
以下のグラフについては、金融庁が示した「共通KPI」に基づき作成しております。

※共通KPIの定義・算出方法は、金融庁のホームページをご参照ください。

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

◆投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

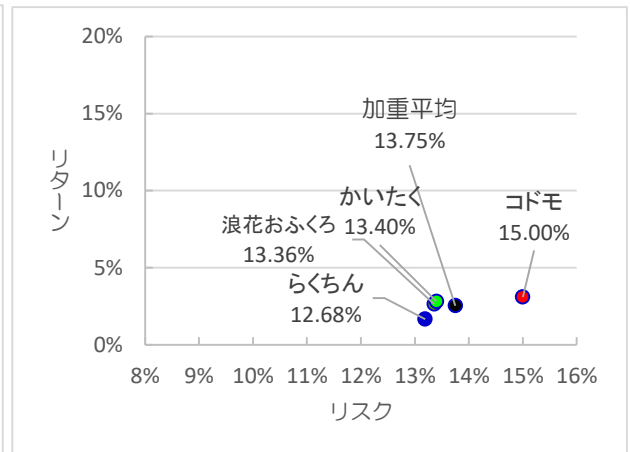
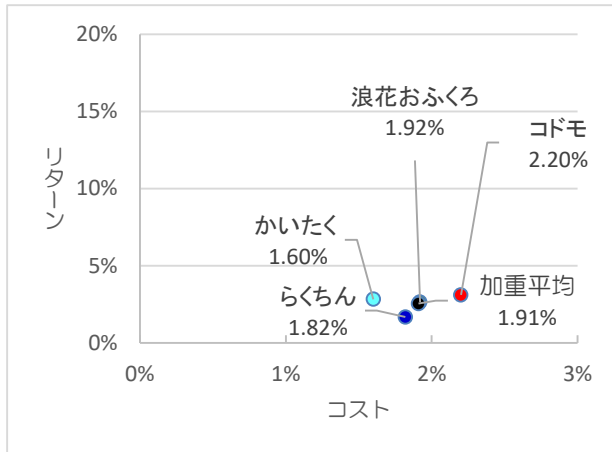
2021年3月末(過去5年間/2016年4月1日～2021年3月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	10.31%
浪花おふくろ	1.92%	9.99%
残高加重平均値	2.11%	10.21%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	13.49%	10.31%
浪花おふくろ	11.79%	9.99%
残高加重平均値	12.95%	10.21%

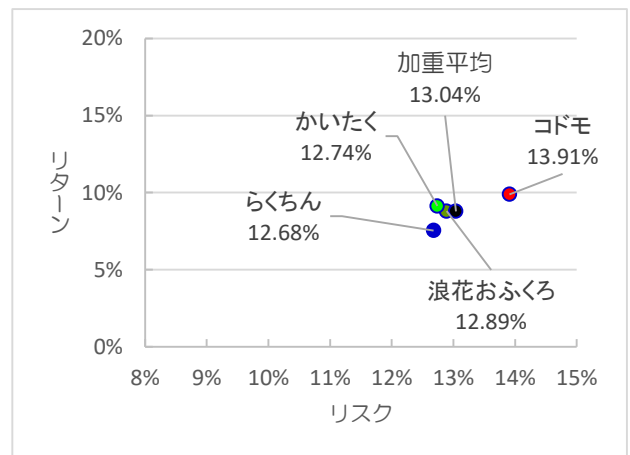
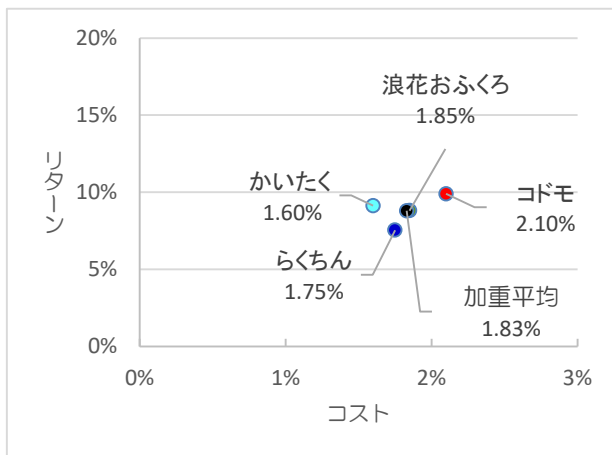
2020年3月末(過去5年間/2015年4月1日～2020年3月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.20%	3.10%
浪花おふくろ	1.92%	2.64%
らくちん	1.82%	1.67%
かいたく	1.60%	2.87%
残高加重平均値	1.91%	2.54%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	15.00%	3.10%
浪花おふくろ	13.36%	2.64%
らくちん	12.68%	1.67%
かいたく	13.40%	2.87%
残高加重平均値	13.75%	2.54%

2019年3月末(過去5年間/2014年4月1日～2019年3月末)



銘柄名	コスト	リターン
コドモファンド	2.10%	9.98%
浪花おふくろ	1.85%	8.80%
らくちん	1.75%	7.54%
かいたく	1.60%	9.13%
残高加重平均値	1.83%	8.79%

銘柄名	リスク	リターン
コドモファンド	13.91%	9.98%
浪花おふくろ	12.89%	8.80%
らくちん	12.68%	7.54%
かいたく	12.74%	9.13%
残高加重平均値	13.04%	8.79%

注)らくちんファンドは2020年9月28日、かいたくファンドは2020年10月26日にコドモファンドに併合しました。

4. お客様との信頼関係を大切にします

本当に優れた運用は、運用側だけではなく、お客様との長期の信頼関係のもと、お客様と一緒に行動することで達成されます。特に大規模な市場の調整局面でも、信頼して弊社に追加投資して下さるお客様との強い信頼づくりを重視しています。この実現のためセミナーでは交流会を設け、リラックスした環境で直接意見交換できる場を大事にしています。さらに、お客様専用通話料無料ダイヤルを設け、お客様のご不明点には直接丁寧にお答えする体制を整えるなど、今後もお客様お一人おひとりとの対話を重視してまいります。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(重要な情報の分かりやすい提供・顧客にふさわしいサービスの提供)に対応しております。

当社では投資家のみなさまを対象にセミナーを開催しております。

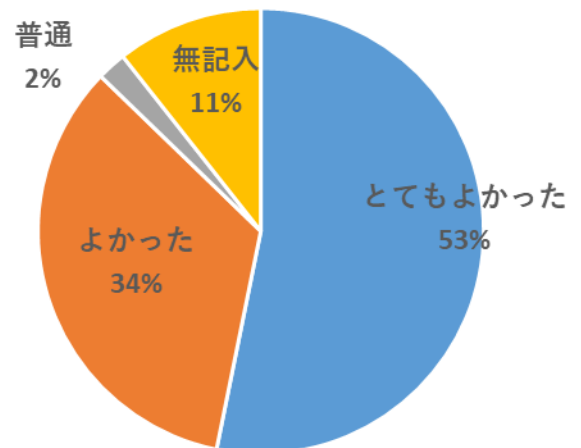
セミナーは「はじめる」「ふやす」「いかす」の3つのカテゴリをご用意し、初級者から上級者までそれぞれを対象として行っております。2020年3月27日に初めてネットでのセミナーを開催して以降、対面形式のセミナーは開催しておりませんが、参加者のアンケートでも87%の方から「とてもよかった」「よかった」とご回答いただきました。

セミナーのあとにはネット交流会なども催しており、参加者のみなさまに好評いただいております。

◆セミナーアンケート(2020年4月から2021年3月)

開催回数 18件 参加者数 405名

アンケート回収数 176名(回収率 42.0%)



セミナーアンケートより

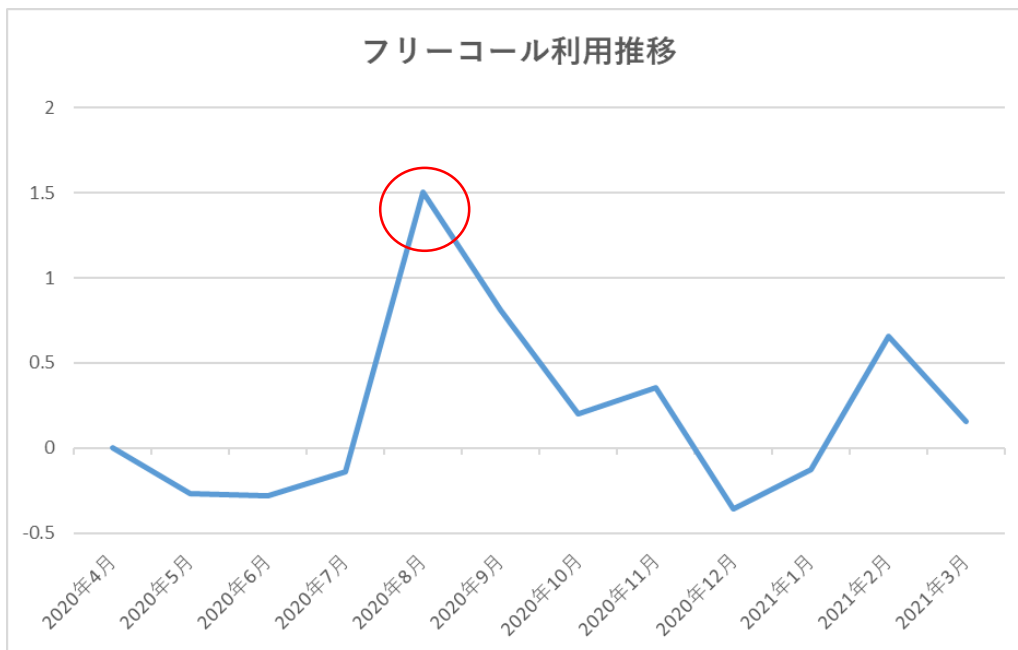


2021年3月
組み入れファンドのファンドマネージャーによる
ネットセミナー



◆フリーコール利用状況(2020年4月から2021年3月)

※2020年4月のフリーコール利用料を「0」として、各月の推移を表示しております。



※2020年8月は、「らくちんファンドおよびかいたくファンドをコモファンドに併合する重大な約款変更のお知らせ」を受益者にお知らせした月であり、お問い合わせが増加したため数値が高くなっております。

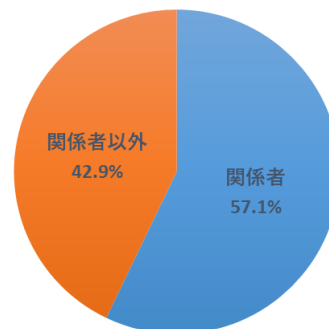
5. お客様とリスクを共有します

世界的には、運用者も資産の多くを自らのファンドに投資しているファンドしか信用されません。私どもクローバーのスタッフも、お客様と同じ条件でファンドの顧客となることで、リスクを共有し、お客様と同じ目線で、運用成果の追求や、コストの削減を自らのこととして追求してまいります。当社のファンドの中には、グループ企業やその従業員も主要な顧客となっているものもあり、これも私どもの大きな特徴となっております。

※金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(利益相反の適切な管理・従業員に対する適切な動機づけの枠組み等)に対応しております。

◆関係者投資比率(2021年3月31日現在)

コモファンドおよび浪花おふくろファンドにおける関係者(役員、社員、家族(一親等)、関係会社等)の投資比率は、57.1%です。



ファンドにかかわるリスク

当社が運用、販売するファンド（以下、当ファンド）は、ファンド・オブ・ファンズであり、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、「価格変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「為替変動リスク」、「カントリートリスク」等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。目論見書のご請求は、クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部までご連絡ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドに関する情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

【クローバー・アセットマネジメント株式会社】
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2727 号／加入協会 一般社団法人 投資信託協会
〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 3 番 4 号京橋日英ビル 3 階
お客様専用通話料無料ダイヤル：0800-5000-968